

皆さまと共に祈る

國の平安と人々の幸せ

岩津天満宮宮司

服部 憲明

新年明けましておめでとうございます。

輝かしく平成二十九年丁酉歳の新春を迎え、皇室の弥栄と聖寿の萬歳を壽ぎ奉り、当宮ご崇敬皆さまのご健康ご多幸をお祈りいたします。

昨年国際的にも国内的にも様々な動きがあった年でした。テロの増加は最早限られた地域だけではなくてきました。東南アジア情勢では南・西シナ海での支那中國の暴挙や隣國韓國の混乱と政変。フィリピンの大統領選は親中派のロドリゴ・ドゥテルテの圧勝。ヨーロッパでは英国のEUからの脱退。米国大統領選でのトランプ勝利の影響など。

国内では熊本・鳥取・福島沖の大地震、台風や豪雨による水害が相次ぎました。

八月八日には今上陛下のお言葉が放送され「生前退位」と言う言葉が一歩進んできてしまいました。陛下のお言葉を社界も重く受け止めて、有識者のヒアリングなど慎重に推移を注視して行かねばなりません。世界に誇る日本の皇室の未来に関わる重要な問題であり、憲法にも関わ

ることでありますので軽々な発言は控えつつも、叡智を集めて皇統をお護りせねばなりません。

昨年の県神社関係者大会でアメリカ人の視点からケント・ギルバート氏の講演を拝聴しましたが、今の日本憲法では専守防衛すらままならず国際情勢から見ても早急に改憲を進め自らの國は自ら護ることの出来る態勢を作るべきと、非常に分かり易くお話しいただきました。広く国民の理解を得、少しでも早く憲法改正実現の道筋を明らかにすべき時であると思います。

陛下が日々國內平らかに民安かれと祈られる大御心を体し、当宮におきましても日々の祈りを大切にして参りたいと存じます。併せてご崇敬皆さまの年々日々の平安の為にも、合格・病除祈願と共に方除祈禱をお薦めしております。天神山の自然溢れ神氣充ち満ちた神域で、大難を小難に小難を無難に転ずるご祈禱を執り行います。

今年も皆さまと共に國の平安と人々の幸せを祈り続けて参りたいと思います。

パスポートの色(国籍)は、 細事にあらず

明けましておめでとうございます。旧年中に賜りましたご厚誼に御礼を申し上げます。

背骨がまっすぐ通った日本人の生き方を貫かれ、範を示して下さいる岩津天満宮宮司 服部憲明先生には、全国の神道政治連盟幹事長としていつも温かくご指導賜っており、重ねて御礼申し上げます。

民進党の連舫代表の二重国籍疑惑に端を発して、国民が国籍、とりわけ政府要人の国籍について考える機会がありました。連舫氏は政治家になる以前、インタビュ等で二重国籍であることや「(日本の)赤いパスポートになるのがいやで、寂しかった」などと再三繰り返し発言していました。しかし当初の世論調査(NNN)では、「二重国籍自体を問題にしない」(三三・七%)、「日本国籍を持っており問題ない」(三〇・四%)と、疑惑を問題視しない意見が約六割を占めたのです。私は世論調査のデータに率直に驚きました。国籍とは、そんなに軽いものではないはず。国籍法に違反し、政治家が自らの国籍管理すら

全くできていなかったこと、説明が二転三転したこと、「一九八五年、台湾から帰化」という虚偽

記載の選挙公報がなされたこと等を問わねば、事の本質は伝わりません。特に、国政に携わり、国家機密と向き合うことにもなる国会議員の二重国籍は、国家の安全保障上、厳に慎むべきだと私は考えます。国家・国民に対する忠誠を誓う、私達の日本と運命を共にするという意志を明確にする意味での国籍選択であるはずだからです。

岩津天満宮をはじめ社界の皆様は、国家の安泰、ご皇室の弥栄、地域の繁栄、家内安全を常に願って祈りを重ねて下さいます。私達の誇りとする社界の価値観であり、日本人の感性そのものでありましょう。志を同じくする皆様と、今一度、国籍の持つ重みを確認し、國の守りを創り固めなす上で、行政府の要人が日本国籍のみを持ち、国家国民に仕えるという本来の使命・職責専一に立ち戻ることの重要性を共有したいです。私自身も国政に身を置く政治家と



して、皆様の確かな眼力に適うよう、心して国家国民益を追求して参りたいと存じます。今後ともどうぞ温かいご指導を賜りますようお願い申し上げます。

岩津天満宮の益々のご隆昌と、お宮を大事に想われる皆様の幸多き二年をお祈り申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。

感謝 有村治子